

きたやまこふん だい ごうふん 「北山古墳 (第1・2号墳)」

- 指 定 千曲市指定史跡 昭和 50 年 12 月 17 日
- 所 在 地 千曲市大字生萱字北山 1023 番地
- 所 有 者 個人
- 概 要 古墳 指定面積：1,532 m²
- 時 代 古墳時代 (7 世紀前半)
- 公 開 いつでも可

本古墳は千曲市生萱の大門部落の北、^{からさきやま}唐崎山の南麓にある^{れんげじ}蓮華寺の裏、標高 405m の傾斜面に築造された^{よこあなしきせきしつ}横穴式石室をもつ古墳です。2 つの古墳は 30m 程へだてた東西に並び、いずれも既に発掘され、南西の方向に開口しています。

第 1 号墳の石室は、主軸線を北 25 度東にとり、その規模は^{せんどうぶ}羨道部がほとんど壊されて^{げんしつ}玄室を残すのみですが、現存する玄室は長さ 2.8m、^{おくへき}奥壁幅 1.65m、中央幅 1.8m、^{げんもん}玄門内側幅 1.8m でほぼ長方形をしています。^{おくへき}奥壁は幅 1.1m 及び 0.5m の縦長の石 2 枚を立て並べ、天井幅は 0.9m となっています。

第 2 号墳の石室は、玄室の前部に堆積土が多く、完全に計測が出来ませんが、玄室の長さ 2.8m、奥幅 2.3m、中央幅 2.5m、玄門内側で 2.4m の長方形をしています。

この 2 基の古墳は、傾斜面を利用した横穴式石室をもつ古墳で、ともに羨道が壊されて完全とはいえませんが、石室の構造方法は当地方にみられるものです。

日頃、生萱区の皆さんが、草刈等管理にご苦労されています。

